根広げる家庭文庫

調査結果も効果裏付け

親と子がいっしょに読書することで家庭教育によい影響を与えようと、市立記念図書館が、家庭文庫運動を始めてから八年になります。

これは遠い図書館までわざわざ出かけなくても図書館から学校を通し、子供たちの手から各家庭に図書を巡回する袋の図書館です。

家庭文庫は袋の中に親と子のための本が二冊くみあわされ月に一回、一週間から十日間ぐらい児童のいる家庭を巡回させる仕組みで、低学年では母親が読んで聞かせたり、中学年では子供が声を出して母親に読んで聞かせたり、高学年では子供が読んでからどんなことが書いてあるかを親に知らせることを毎日二十分間読みつづけて行く運動です。

家庭文庫は各学年の力に合せて、毎月一袋、年間十二袋、二十四冊の本を、（価格にすると約一万円）家にいながら読むことができます。

子どもと親が、幼稚園から中学卒業まで十年間に読んでおきたい良い本が二百四十冊、家庭に流れてくることになります。

この親子ぐるみの袋の図書館運動は「新津方式」といわれていますが、効果が多いということで、去年の読書週間に新津、三条、高田、白根、糸魚川など五市の図書館が県立図書館の助成図書をもらい、モデル地区に指定され家庭文庫を実施しました。そして千百七十五家庭を対象に、学校、児童、家庭の読書調査をしました。

その結果、たいへん有効なことがわかり、新年度から範囲をひろげて新潟方式の家庭文庫運動と名付け、まず小学校から実施することになりました。

新津市内の小学校四校のモデル十三学級、四百の家庭で行なった調査結果は次のとおりでした。

家庭父母の調査

(1) 父母が家庭文庫の本を読んでいますか、については、必ずよむ、ときどき読むが合せて六八%

(2) 家庭文庫の本が、子どもに適していたと答えたものが四三%

(3) 親が家庭文庫で読みたいと思う本には実用的なのが三〇%、趣味娯楽的なものが二〇%教養的なものが二七%

(4) 家庭文庫を主に読むのは、父親が一六%、母親が五五%。

(6) 家庭の希望と意見については、

○もっと廻ってくる回数をふやしてもらいたい。

○時間をかけてじっくり読みたい。もう少し期間を長くしてほしい。

○ずっと続けてほしい。

○なかなか本は買えないからもっと回数を多くしてほしい。

○非常によい運動だと思う。どんどん広がるようにしてほしい。

○物語的な本がたくさんほしい。

○いろいろの本が読みたくなった。

○とにかくできるだけたくさんの本を読みたい。そのための本の入手が簡単なのが先決。家庭文庫のやり方はよい方法であった。

○学校の先生の協力が必要である。

○子供の文庫だと思っていたが、親の本も入っていたのでよかった。

子どもの読書調査

(1) 家庭文庫の本を必ずよむものが二八%、ときどきよむものが六六%

(2) 家庭文庫を借りてよかったが六〇%、どちらでもよいものが三六%。

(3) 家庭文庫でよんだ本のうち、面白くてためになったと思うものを一つえらんで、その本のなまえをかいたものが四百人中、三百九冊あった。

(4) どんな本をよみたいかについて、童話、物語五一%、伝記が二一%、理科一二%で、理科関係が案外多いのは注目される。

(5) 家庭文庫をかりてから、うちの人はどうかわりましたか、については、

○かりていった本をうちの人もみてくれるようになったと答えたものが二六%。

○本のことで、はなしあいをするようになったものが九%。

○本ばかり読まないでもっと、勉強をしなさいと、注意されることが多くなったもの五%。

○うちの人がよく本を買ってくれるようになったものが九%である。

学級の先生の観察

(1) 家庭文庫をかりてからの子どもたちの変化について、学級活動の面では、

○家庭文庫の係を設けて貸し出しを自主的にやっている。

○自習時間など進んで読書するようになった。

○本を読む楽しさを味わえた子や、本のまわってくるのを待ちどうしがっている子も大分いた。

学習活動にあらわれた変化には、

○読書力、読解力もよくなったように思う。

○ことば、話し方、表現力などもついてきた。

○発表など順序だてた話し方ができるようになった。

○知識が豊富になり授業時間の助けになった。

○国語の大意をつかむのが早くなった。

(2) 家庭の父母に及ぼした影響については、

○わずかな家庭だが、かりてきた本を父が読んで話題にしあうような傾向がみられた。

○成績優秀児の家庭の方が熱心に話し合ったり、読んでくれるような感じがする。

○三分の一程度の親が読んでやっていることがわかった。

○かりてきた本は、読むことにある程度強制されることになり、結果的に読むくせがつくのでよいという意見があった。

(3) 教師に及ぼした影響については、

○児童の読書の傾向がわかり、予想外の本を好きだといったりして個性の再認識をさせられた。

○知識が豊富になり、社会科の学習時間などがやりやすくなった。

○輪読の後教師と母と一冊の本について語りあうこともよいと思う。

(4) 読書の指導上感じたことについては、

○低学年には興味を持たない児童もいるので、もう少し興味を伴うような本を多くしてほしい。

○学級全体から見て、能力のおくれている児童や、おちついて読書のできない児童もかなりある。活動盛りの年令であるため、文庫を借りたくない児童などには、図書の内容なども考慮してやる必要があると思う。

○長文に対する姿勢が今までの児童はいいかげんであったが、じっくり落付いて読むようになった。

○むずかしいものとか思考を要するものはいやがり、マンガなどを喜んでいるのでそれから脱皮させる指導がむずかしい。

○いい本とか悪い本とか読む前には、決めることは、むずかしいので、とにかく面白そうな本をどんどん読んでいかせることで本がすきになった。

○五年生ではそろそろマンガを卒業しはじめた子も目立ってきた。

文庫に対する先生の意見

○児童の読書指導上、ひいては学習向上にも好影響を与えると思われるので今後も続けてほしい。

○近くに図書館がないので喜んで借りている。この事業は大賛成である。

○子どものときから本を楽しく読んでもらうため伝記、物語りを多くしてもらいたい。

○父母にも読書の啓蒙を与えたのでよかった。

○子どもを通して親も共に読書させる組み合わせの貸し出しについては賛成である。

○続けてほしい、また選定される図書に父母の要望もとりいれてほしい。

○農村地帯ではあまりむずかしいものよりも、子供には童話を主にし、父母には中学生程度でもわかるような興味の持てる本を選んでほしい。

○父母向も、中学生程度のものであまりむずかしくないものがよい。

◇

市立図書館では、これらの意見や調査をもとに先生と親と子どもの希望をよく聞いて、内容の選定に気をくばり改善をしてゆくつもりです。

新年度は四十学級、千六百家庭に、年間のべ四万人の読書人口をのばす準備をしております。

学校で家庭文庫が実施されない地域の方には、部落PTAの要望があれば、たとえ少数でも配本を予定していますからお申し込みください。家庭文庫の巡回の仲間をつくり、家庭のなかに本を持ち込みましょう。

教育寸描

私の家のお正月

新津第一小学校・四年　道場久美子

大みそかの日、夜九時から紅白歌合戦があったので、家じゅうで楽しく見た。歌合戦が終わってしばらくたつと、じょ夜のかねがなる。一度、じょ夜のかねの百八つなるころまで起きていて、ほんとうに百八つなるのか数えてみたかったが、歌合戦が終わってすぐにねてしまって、数えられずざんねんだった。

元旦の日は、いつもの年と同じようにねぼうして、九時すぎまでねていた。朝起きて、毎日やっている、かいだんはきをしようと思ったら、母が、

「元旦は、しなくてもいいのだよ。福をはき出さないといってね、そのかわり、あしたからはきちんとはいてちょうだいね」と笑いながらいった。

おもちが焼けて、朝ごはんの用意ができると、家じゅうでテレビを見ながらおぞうにを食べた。弟は、テレビを見るのにむちゅうになってしまって、しょっちゅう、父や母に、「早く食べてしまえ。」「のそのそしていると、テレビを消すぞ」などと注意されていた。注意されたときはテレビを見ずに食べるが、しばらくたつとまたテレビにむちゅうになってしまう。私は、こんなにおいしいごちそうなのに、どうしてテレビなどにむちゅうになるのかふしぎだった。また、ふつうの朝とかわらない朝なのに、一年の初めだと、なぜかかわった感じがするのかふしぎだった。

食べ終わって十分くらいたつと、年賀じょうが来た。友だちから来たものを読むと、どの年賀状も（ことしもがんばるぞ）という気持ちがあふれていて、とても負けていられない気持ちになる。

ことしは、今までもやっていた、かいだんはきをやったり、去年あまり実行できなかったラジオ体そうをしたり、食べもののすききらいをなくして、じょうぶなからだを作りたいと思った。

私の家のお正月は、とくべつなことはしなかったが、家じゅうみんなそろってすごしたので、楽しいお正月だった。

とし夜から元日にかけて、家族そろって楽しく過ごしたようすが、生き生きと書けています。とくべつなことがなくても、お父さんやお母さんといっしょに食べたおぞうには、何にもましておいしかったことでしょう。

元日の朝といっても、ふつうの日の朝と変わらないわけですが、やはり気分の改まった感じがするものです。わたしたちがくらしていくうえで、一つのくぎりをつけたいという願いがあるからなのでしょうね。

元日に届いた友だちの年賀状から、今年のめあてを考えたのはすばらしいことだと思います。三日坊主（ぼうず）にならないように、がんばってほしいものですね。

合格者に技能士章

技能検定合格者には労働大臣から技能士章が無償で交付されます。まだ交付を受けない人、または紛失や破損した人は、県庁、職業訓練課へ合格証明書と印鑑持参のうえ受領に行ってください。いつでも受け付けています。

豊富な'69サイズ
新しいカラー
紳士服
婦人服
洋服は専門の店
MEN'S LADY'S つちだ
新津市本町2丁目　電話2-0648

ご婚礼貸衣裳
新春の花嫁衣裳豊富入荷！
◎定価の1割引き予約承り中
指定・国鉄物資部・新津市内各結婚式場
高級婚礼貸衣裳
㊉ 丸伝衣裳店
本店　新津市本町1（第四銀行小路）電話2-0636・3856
新潟店　新潟県理容美容福祉会館衣裳部　電話23-5146

カラースタジオ
婚礼出張撮影・免許写真・アルバム
カラープリント・D.P.E
㈱坂詰カメラ店
カメラの10ヵ月払い
本店　新津市本町4　電話(02502)2-0045
新町店　新町1　電話(02502)2-2484